1 E

		令和 5年度 事務事業評価表(個票)							課名 環境	市民部地域	協働・安全課		作成日	令和 6年	F 8月 1	日	
概	施策名	生活安全・消費生活							基本目標 安全・安心に暮らせるまち								
要	施策の目的	交通事故や犯	罪を減らし、自ら学ひ	バ行!	動する消費	者を育	成する	ことで	、安全で安心	して暮らせるる	まちをつくるこ	と。					
	施策の方向																
	令和 5年度 の評価	園の要望に基づき、市内全ての小学校と幼稚園・保育園29園において防犯教室及び不審者 5.特殊詐欺については、警察からサギ電話多発の情報を受けた際に、同報無線や市民メー 足した。防犯灯は、町内会、自治会からの要望に基づき、設置基準に応じた適正な新設及							ル、三島市公式LINEに加え、広報みしまで特集記事を組								
	今後の方向性 (改善措置等)	口 拡大	る。特に特殊詐欺につ	つい	稚園・保育園の要望に基づき防犯教室及び不審者侵入訓練を実施する。また、三島警察署や他市町と協働で、街頭啓発やパトロールなどを実施すいては、警察やボランティアが主催する街頭啓発に積極的に協力し、市民の防犯意識向上を図る。防犯灯の不点灯などがあった際には地域協働・うよう呼びかけるほか、各戸が玄関等を点灯する一軒一灯運動を呼びかけるなど、市民意識の向上に努める。												
No.									活動内容				コスト(事業費:千円)				
	市民防犯意識啓発事業							単位	令和 4年度		5年度 令和 5年度 令和 6年						
								実績	計画	実績	計画	決算	当初予算	決算	当初予算		
	全体事業概要防犯教室や講演会等による情報発信、青色回転灯による。				① 広報みしま、ラジオ、ホ				42	14	51	14	1 005	1 000	001	050	
	るパトロール活動等を通して、市民一人一人が自分の 身は自分で守るという防犯意識が高まるよう啓発を行 い、犯罪が起きにくく安全で安心して住めるまちづく			2	ームページ) ②								1, 035	1, 069	901	950	
	りを推進する。													令和 7年	度の優先度		
1				3	3								□ A	□В	□ C	□ D	
					令和 5年度 の評価 計画どおり □ 遅延 □ 進展なし			, b	まの「防犯ーロメモ」などによる情報提供で市民の防犯				市公式LINEで市民に注意を促した。また、広報みし 記意識の向上を図った。				
	事業区分 □ 自注計画対象 □ 実施		定受託 □ その他 □ 行政改革対象		後の方向性 改善措置等)	<mark>│</mark> □ 俳	小口	〕改善	練を実施する	。また、三島	警察署や他市町	」と協働で、街	染症対策を徹底 頭啓発やパトロ 的に協力し、市	ールなどを実	施する。特に		
No.	事務事業名			□ 廃止					: 活動内容				コスト(事業費:千円)				
	防犯灯維持管理事業				活動指標名			T	会和 4年度会和 5年度会和 5年度会和 6年度								
	produce and the second							単位	実績	計画	実績	計画	決算	<u>17 18 0 1 / (2)</u> 当初予算	決算	当初予算	
	全体事業概要 防犯灯の効果的な設置や維持管理を行う中で、夜間に おける歩行者の防犯面及び交通面での安全確保を図る 。				防犯灯設置率 ① (新設数/調査の結果、 設置が必要とした数)		%	100	95	100	95	41, 226	39, 456	40, 821	38, 731		
					2									A =			
												一					
2				3	3								□ A	□В	□С	□ D	
					令和 5年度 の評価 計画どおり □ 遅延 □ 進展なし			<i>,</i>	町内会、自治会からの要望に基づき、設置基準に応じた適正な新設及び迅速な修めた。防犯灯の不点灯などがあった際には地域協働・安全課へ通報してもらうよ						うに呼びかけた。		
	事業区分 □ 自治	治事務 □ 法		■ 維持 今後の方向性 □ 縮小 (改善世署等) □ 休止			〕改善	努める。防犯	灯の不点灯な	どがあった際に	こは地域協働・	た適正な新設及安全課へ通報し	てもらうよう				
	計画対象 ■ 実施	施計画査定対象	(2	牧善措置等) □ 休止 □ 終了 関等を点灯する一軒一灯運動を呼びかけるなど、市民意識の向上に努め □ 廃止)る。					